



ファームウェアバージョン:	R1.00.B045	
ハードウェアバージョン:	DGS-1520-28	A1
	DGS-1520-28MP	A1
	DGS-1520-52	A1
	DGS-1520-52MP	A1
発行日:	2022/8/15	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード	2
Web GUI を使用したアップグレード	4
追加機能：	7
MIB および D-View モジュールの変更点：	7
コマンドラインインタフェースの変更点：	7
修正した問題点：	7
既知の問題：	7

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R1.00.B045	2022/8/15	DGS-1520-28	A1
		DGS-1520-28MP	A1
		DGS-1520-52	A1
		DGS-1520-52MP	A1

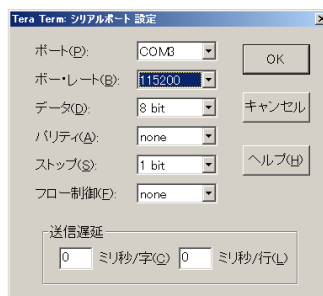
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)を使用する、もしくは Web GUI から行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード

1. スイッチの RS-232C シリアルポート（コンソールポート）と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キー 1 回を押し、ログインします。
3. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
exit	現在のコンフィグモードを終了し、最後に使用したモードに戻ります。
copy tftp: //LOCATION/SOURCE-URL flash: PATH-FILE-NAME	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show version	スイッチのバージョンを表示します。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例)

(1) スイッチユーザ名をパスワードを入力してログインします。

ユーザ名とパスワードの初期値は「admin」です。

(2) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

```
Switch# copy tftp: //10.90.90.100/DGS-1520_Run_1_00_B045.had flash:
DGS-1520_Run_1_00_B045.had
```

Address of remote host [10.90.90.100]?

Source filename [DGS-1520_Run_1_00_B045.had]?

Destination filename [DGS-1520_Run_1_00_B045.had]?

Accessing tftp://10.90.90.100/DGS-1520_Run_1_00_B045.had...

Transmission start...

Transmission finished, file length 15644512 bytes.

Please wait, programming flash..... Done.

(3) ブートイメージを指定します。

```
Switch#
```

```
Switch#configure terminal
```

```
Switch(config)#boot image DGS-1520_Run_1_00_B045.had
```

```
Switch(config)#exit
```

```
Switch#show boot
```

```
Unit 1
```

```
Boot image: /c:/ boot image DGS-1520_Run_1_00_B045.had
```

```
Boot config: /c:/config.cfg
```

(4) スイッチを再起動します。

```
Switch#reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
```

```
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

(5) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

Switch#**show version**

System MAC Address: xx- xx - xx - xx - xx - xx

Unit ID	Module Name	Versions
1	DGS-1520-52MP	H/W:A1 Bootloader: 1.00.011 Runtime: 1.00.B045

Web GUI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. TFTP サーバ/SFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合は、PC 上で TFTP サーバ/SFTP サーバを有効にします。(必ずご使用の PC に TFTP サーバ/SFTP サーバのインストールを行っておいてください。)
3. お客様の PC とスイッチを R-45 ネットワークケーブルで接続します。
PC とスイッチの IP アドレスは同じサブネット内に設定してください。
(例：スイッチの IP アドレスが 10.90.90.90 の場合、PC は 10.90.90.100 など)
4. スwitchの IP アドレス（初期値：10.90.90.90）をブラウザのアドレスバーに入力し、Web GUI にアクセスします。
5. Web GUI にログインします。
「User Name」（管理者のユーザ名）と「Password」（パスワード）の初期値は「admin」です。
6. ファームウェアアップグレードは、**Tools > Firmware Upgrade & Backup** から実行します。
アップグレードの方法は「HTTP」「TFTP」「SFTP」から選択します。

HTTP 経由でアップグレードを行う場合

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Upgrade from HTTP を選択します。

- Source File : 「ファイルを選択」をクリックし、ファームウェアファイルを選択します
- Destination File : フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。(例：c:/DGS-1520_Run_1_00_B045.had)

TFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Upgrade from TFTP を選択します。



- TFTP Server IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- Source File : TFTP サーバ上に保存した、ダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
- Destination File : フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。 (例 : c:/DGS-1520_Run_1_00_B045.had)

SFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Upgrade from SFTP を選択します。



- SFTP Server IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、SFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- User Name: SFTP サーバのユーザ名を入力します。
- Password: SFTP サーバのパスワードを入力します。
- Source File : SFTP サーバ上に保存した、ダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
- Destination File : フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。 (例 : c:/DGS-1520_Run_1_00_B045.had)

7. ステータス画面が表示されます。
アップロード完了後に「Done.」と表示されてから画面を閉じます。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

8. 次回のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージが選択するために、**Management > File System** の順にクリックします。

Drive	Media Type	Size (MB)	File System Type	Label
C:	Flash	59	FFS	

9. Drive 欄の [C:](#) をクリックします。

10. 該当するイメージの行にある「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。

Index	Info	Attr	Size (byte)	Update Time	Name	Boot Up	Rename	Delete
1	RUN(*)	-rw	14926672	Jan. 01 2019 00:14:07	DGS-1520_Run_1_00_B0...	Boot Up	Rename	Delete
2	RUN	-rw	14927152	Jan. 01 2019 00:34:38	DGS1520_FW1_00_B037...	Boot Up	Rename	Delete
3	RUN	-rw	14918928	Jan. 01 2019 00:04:47	DGS-1520_Run_1_00_B0...	Boot Up	Rename	Delete
4	RUN	-rw	14915216	May 19 2020 10:22:04	runtime.had	Boot Up	Rename	Delete
5	CFG(*)	-rw	4181	Jan. 01 2019 00:38:35	config.cfg	Boot Up	Rename	Delete
6	CFG	-rw	2221	Jan. 01 2019 05:42:15	config_1226.cfg	Boot Up	Rename	Delete
7		d--	0	Jan. 01 2019 00:00:10	system			Delete

62283264 bytes total (1732096 bytes free)
(*) -with boot up info

※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

11. ブートファイルの指定に成功すると「Success」と表示されます。画面の「OK」をクリックします。

12. **Tools > Reboot System** をクリックし、スイッチをリブートします。

13. 以下の画面で「Yes」を選択し「Reboot」をクリックします。
「Are you sure you want to reboot?」と表示されるので「OK」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。

Reboot System

Do you want to save the settings? ☒ Yes ☐ No

If you do not save the settings, all changes made in this session will be lost.

Reboot

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

14. システムの再起動後にログインし、ファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.00.B045	特になし

MIB および D-View モジュールの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.00.B045	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.00.B045	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R1.00.B045	<ol style="list-style-type: none"> 1. ERPS の対象ポートチャネルについて、インタフェースの追加/削除を実行した際にエラーメッセージが表示されない問題を修正致しました。 2. スタック構成において Mgmt Interface の IP アドレスを 0.0.0.0 に設定している場合、スタックのマスタの交代時に正しく状態が引き継がれない問題を修正致しました。 3. VLAN ベースのループバック検知において、ループを検知しない問題を修正致しました。 4. Ping や Telnet への応答に時間がかかる場合がある問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R1.10.B045	<ol style="list-style-type: none"> 1. loopback internal phy は、リンクアップしているインタフェースでは使用できない問題。(制限事項) 2. Loopback Interface、Vlan Interface において、/64 を超える IPv6 アドレスを受け付けない問題。(制限事項) 3. DHCPv6 Server において、Connected の IPv6 Prefix 以外への Lease が機能しない問題。(制限事項) 4. ストームコントロール機能において、「Multicast」を指定した場合、IPv4、IPv6 の予約 MAC アドレス (VRRP、OSPF、IGMP、MLD など) に対して制限が適用されない問題。(制限事項)

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">5. 未給電のポートでは「不正な署名/Invalid Signature」のカウンタが上昇する問題。(制限事項)6. DHCP リレーが有効の場合、discover パケットが対象 VLAN 内に flooding されない問題。(制限事項)7. NTP Server の機能について、経路に従ってソース IP が決定されるため、構成によりクライアントが同期に失敗する場合がある問題。(制限事項)8. MSTP 機能において、instance vlans が 512 で分割して表示される問題。(制限事項)9. 1Gbps のポートにおいて、4 芯 2 対のツイストペアケーブル (UTP) を使用した場合、オートネゴシエーションの設定ではリンクアップしない問題。(制限事項)10. loopback internal mac、phy について、以下の機能と競合する問題。(制限事項)<ul style="list-style-type: none">(1) STP(2) loopback-detection(3) Mirror(4) Channel |
|--|--|

Copyright 2006-2022 D-Link Japan K.K.